

Pepper にしゃべらせよう

Pepper にしゃべらせる方法を学習します。

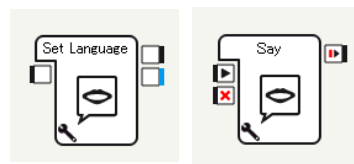
基本課題 Pepper に「こんにちは」以外の言葉をしゃべらせてみよう

■プログラムの作り方

「Set Language」ボックスは、Pepper がしゃべる言語を決めるものです。プロパティを開いて「Language」を「Japanese」に変更し、日本語でしゃべることができるようにします。

「Say」ボックスは、Pepper がしゃべる言葉を入力するものです。プロパティを開いて「Text」にしゃべらせたい言葉を入力します。最初は「Hello」と入力されているので、これを違う言葉に変えてみましょう。ボックスを下図のように配置し、線をつなぎます。

使用するボックス



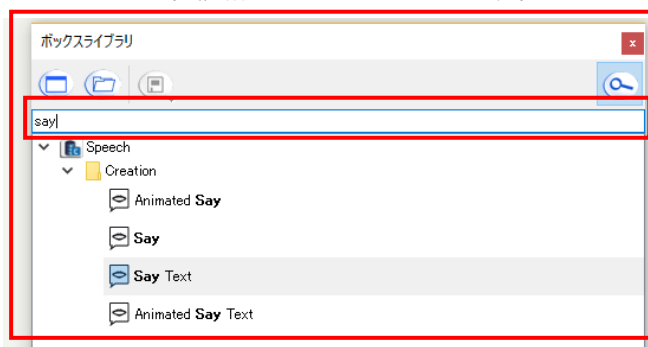
※声の高さを 135、しゃべる速さを 110 ぐらいにすると Pepper らしくなります。

※「Text」の幅が狭いときはプロパティウィンドウを横に広げてみましょう。



◆使用したいボックスの呼び出し方

ボックスライブラリーの検索窓に、使用したいボックス名の最初の数文字を入れてみてください。候補がいくつか出てきます。





発展課題

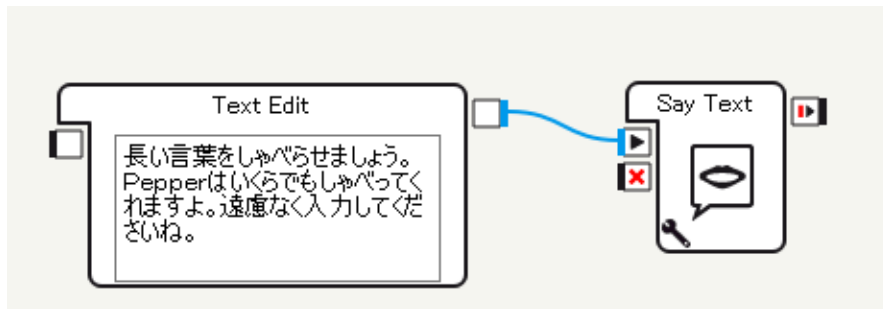
Pepper に、プロジェクト学習でのテーマに関する話題をしゃべらせてみよう



自然に聞こえない場合は、漢字をひらがなやカタカナに書き換えてみよう。
「Say」ボックスを増やして、どんどん横につなぐこともできます。



長い文章をしゃべらせたい場合は、「Text Edit」ボックスと「Say Text」ボックスを使うと便利です。「Text Edit」ボックスにはかなり長い文章が入力できます。



◆プロジェクトの保存

「1年2組のチーム4番」のプログラムの場合は、プロジェクト名は「010204TRY1」になります。TRY1の部分は授業ごとに変更してください。

保存するときは、「ファイル」→「プロジェクトに名前を付けて保存」をクリックし、作成場所を Dropbox/1年/2組/チーム4 としてください。